

「一括建替え」にNO！を

私たちは、前回4月8日に全戸に配布しました「訴え」の中で、私たちの考えの基本を述べました。それは、

1. 管理組合理事会・大和ハウスが一体となって進めようとしている「一括建替え方式」は、結果として、事情があって建替えに参加できない人、反対の人をこの団地から強制的に追い出すものであり、賛成できないこと。
2. 「建替え」に賛成な方を含めて、「修繕」、「部分建て替え」等の他の選択肢の十分な検討を重ね、住民の最大合意を目指すのが、居住者の代表たる管理組合理事会の本来の使命のはずであり、今の理事会は、その任務を放棄していること。

事実はこちらです！

理事会が、進めようとしている「一括建替え」の唯一無類の根拠と称しているものは、2004年2月実施のアンケートで回答総数804の内「建替え」賛成者が、居住者の54%であったというものです。しかし、このアンケートは、「修繕」か「建替え」かの選択の中で、「建替え」を選択した場合、その着工時期に4つの選択肢があり、「10年以上先に着工」という項目もあったのです。（裏面の資料参照）

理事会は、「建替え委員会だより」（14 2004/5/7）でアンケート調査結果を公表していますが、「着工時期の4項目」については、一言も触れておりません。

つまり、賛成54%の実態は、建替え着工時期の「10年以上先に着工」をも含んだ賛意であり、理事会のいう「一括建替え」且つ、「即実施」という今回の方針に結びつく、論理的な「整合性」は、全くありません。これは、強引に、「建替え」に突き進もうとする作為的操作ではないでしょうか。

同時に、理事会の意に沿って、「建て替え」の意識誘導に手を貸したコンサルタント・市浦の責任も問われることになるでしょう。

私たちは、みんなが「住み続けるための建て替えを考える」会を本年1月から続けてきました。私たちは「建て替え」そのものに反対するものではありません。現在の管理組合理事会の「一括建替え」強行方針を白紙に戻し、十分な論議を重ねた上で、居住者が納得いく施策を求めるものです。

**みなさん！5月29日の通常総会に、ぜひ参加して、
この理不尽な「一括建替え」に反対の声を！ 参加できない方は、
「議事に関する書面議決権行使書」に反対の意志を！**

2005年4月28日

『住み続けるための建て替えを考える』会
世話人会代表 矢船けい子
山中美智代

第6回『住み続けるための建て替えを考える』会 集会

＊ 5月8日(日)午後2時より

＊ 15号棟 集会所にて

(どなたでも どうぞ ご参加ください)

資 料

富士見町団地の将来像に関するアンケート調査

平成16年2月

富士見町団地管理組合法人 建替え委員会

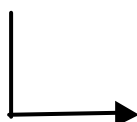
B. 富士見町団地の将来について

7. 富士見町団地の将来的な展望について、どのようにお考えですか。

(あてはまるもの一つに を付けて下さい。)

1. 今の建物をできる限り長く使い続けるよう、十分な修繕を行うことがよい。

2. 修繕に大きな費用をかけるよりも建替計画(将来像の検討、仮移転や資金手当などの問題を解決していくことも含まれます)を検討し、実現していくことがよい。



「2.」とお答えの方のみにお訊きします。

適当と思われる、建替え着工時期に 印を付けて下さい。

ア. 3～5年以内に着工

イ. 5～10年以内に着工

ウ. 10年以上先に着工

エ. 特にこだわらない(大勢に従う場合も含む)

3. 修繕や建替えについてはある程度理解しているが、判断できないでいる。

その理由：(具体的にお書き下さい)

(例：仮移転問題、資金面での問題、家庭の事情：子供、年齢、一人暮らし 等々)